

■ロータリーコイルドライヤー 仕様表

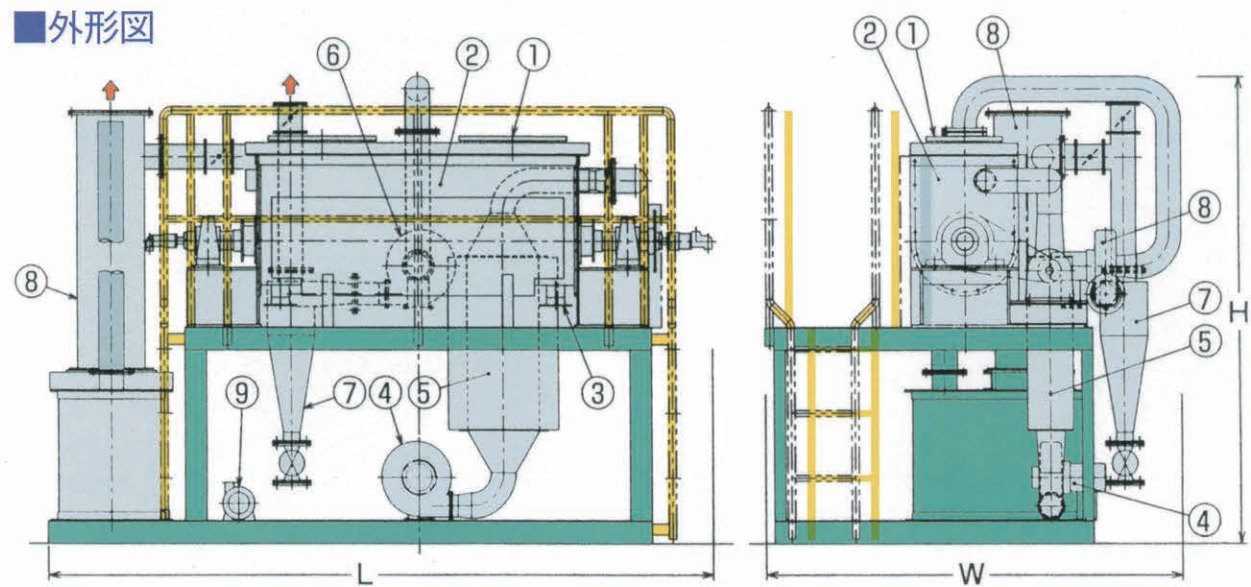
型 式	原料投入量(m³/回)	所要蒸気量(kg/h)	所要動力(kW)	W	L	H	重量(t)
RCD-1000	1	200	5.2	2,200	4,000	2,400	2.5
RCD-1500	1.5	300	6.0	2,400	5,000	2,400	3.0
RCD-2000	2	400	6.2	2,400	5,000	2,400	3.5
RCD-3000	3	600	11.4	2,600	5,000	2,600	4.0
RCD-4000	4	800	11.4	2,600	6,000	2,600	4.5
RCD-5000	5	1,000	17.2	2,800	6,500	2,700	5.0

処理時間は原料の含水率および目標含水率により異なります。

MIIKEではお客様の多種多様な材料に応じたテスト用設備を完備しております。
設備の見学および材料のお持ち込みによる実証テストもお受けしております。

※弊社では常に製品の改良を心掛けておりますので、予告なく仕様等を変更する場合があります。

■外形図



- ①原材料投入口 ②乾燥機 ③製品取出口 ④送風機 ⑤空気加熱器
⑥排風機 ⑦サイクロン ⑧スクラパー ⑨循環ポンプ



■食品廃棄物



■廃木材



■営業品目

- RPF製造プラント
- RDF製造プラント
- 粗大ゴミ破碎・選別プラント
- 廃木材有効利用プラント
- 廃プラスチック油化プラント
- ペットボトルリサイクルプラント
- 木質ペレット製造プラント
- バーク堆肥製造プラント
- 各種廃棄物の中間処理設備
- 粗大ゴミ破碎機
- 大型破碎機
- 移動式破碎機
- プラスチック破碎機
- オガ粉製造機
- モミガラ粉碎機
- 各種破碎、粉碎機
- 傾斜型選別機
- 比重選別機
- 篩機
- 各種選別機
- 各種乾燥機
- 多目的造粒機
- 多目的圧縮成形機

未利用資源の有効利用をめざす
株式会社 御池鐵工所
http://www.miike.co.jp

本社・工場 〒720-2124 広島県深安郡神辺町川南三ノ丁396-2
TEL (084) 963-5500(代) FAX (084) 963-5508
東京営業所 〒103-0027 東京都中央区日本橋三丁目8-9 日本橋御池ビル6F
TEL (03) 5255-3500(代) FAX (03) 5255-4508
大阪営業所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島三丁目11-26
TEL (06) 6885-1958(代) FAX (06) 6885-1957
九州営業所 〒812-0063 福岡市東区原田一丁目27-4
TEL (092) 629-0450(代) FAX (092) 629-0451
関東サービスセンター 〒333-0855 埼玉県川口市芝西二丁目4-19
TEL (048) 261-1166(代) FAX (048) 261-7115
札幌出張所 〒007-0852 札幌市東区北40条18丁目3番15-405号
TEL (011) 780-6350 FAX (011) 780-6351

※弊社では常に製品の改良を心掛けておりますので、予告なく仕様等を変更する場合があります。

多目的乾燥機 RCDシリーズ

ROTARY COIL DRIER

ロータリーコイルドライヤー



未利用資源の有効利用をめざす
株式会社 御池鐵工所

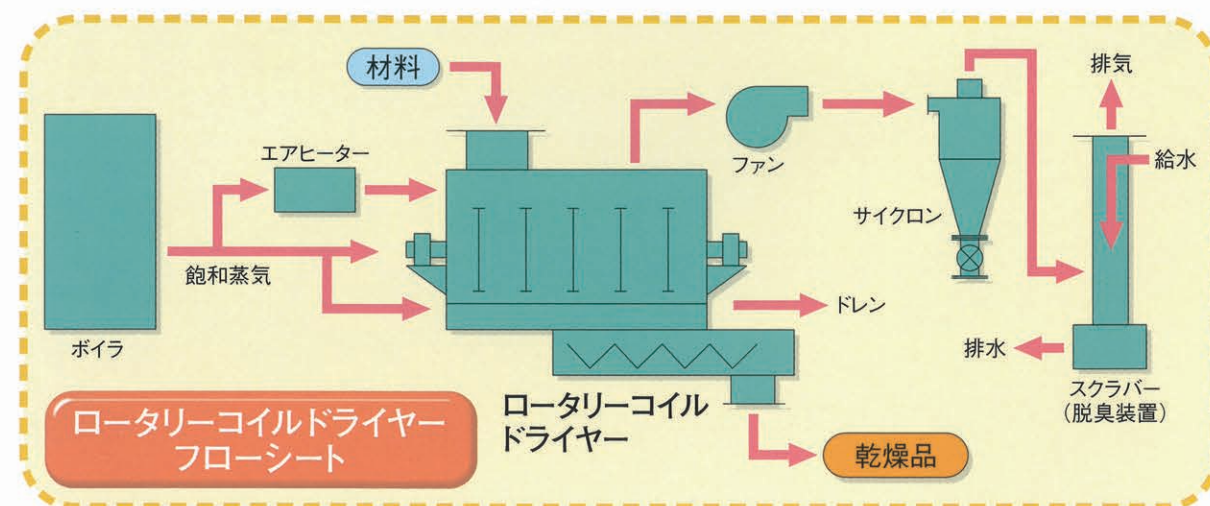
多目的乾燥機2大コンセプト

食品廃棄物の乾燥→嵩の減容・軽量化・飼料化
 廃木材の乾燥→軽量化・バイオマスエネルギー

MIIKE 多目的乾燥機
 《RCDシリーズ》

多目的乾燥機 10大特長

- バッチ式1回、1ton～5tonの対象処理物を減容・軽量化
- 蒸気で加熱されたロータリーコイルが攪拌・乾燥
- ボイラーで作られた低圧蒸気による高効率間接加熱方式
- 乾燥時間の調整により対象処理物の必要含水率での取り出し可能
- 気化した水蒸気が乾燥機内で結露しないので乾燥効率が良い
- 完全密閉による臭気対策方式
- 対象処理物の軽量化によるハンドリングの容易
- 対象処理物の乾燥化により長期保存が可能
- 構造が簡単で故障が少なく、維持管理が容易
- 蒸気を利用した間接加熱なので火災の心配なし

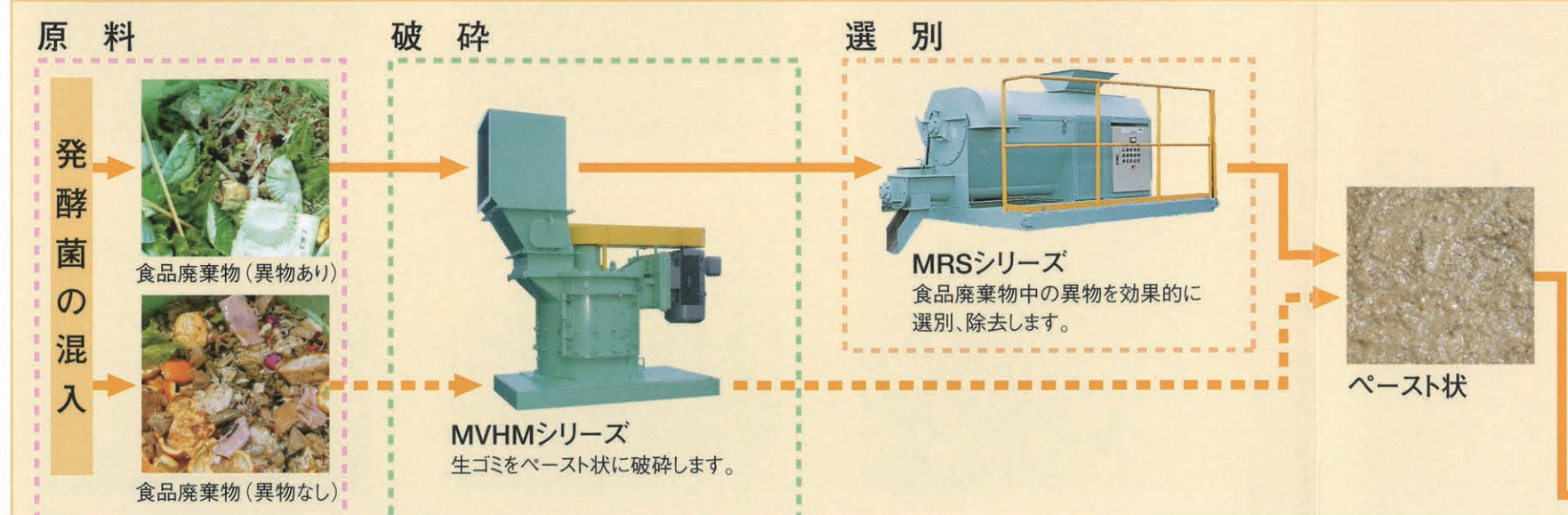


乾燥工程

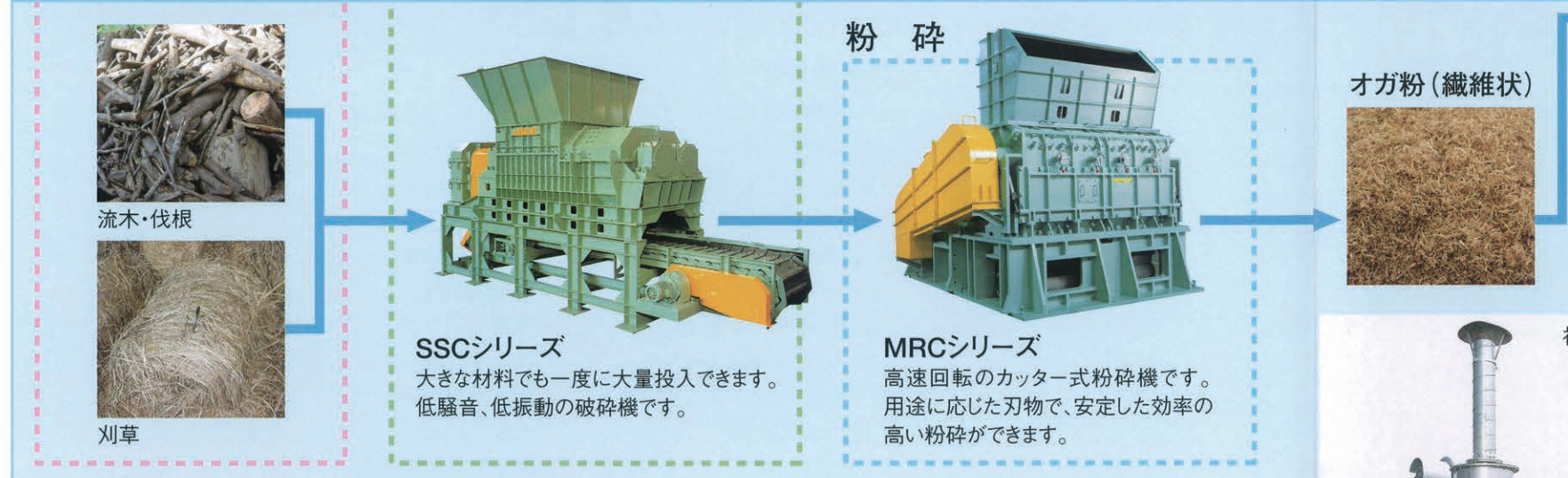
ボイラーで作られた低圧蒸気をロータリーコイル内に通蒸し加熱します。加熱されたロータリーコイルは対象物を攪拌しながら乾燥します。また、乾燥機内部にエアヒーターで100℃以上に加熱した外気を直接吹き込み結露の発生を防ぎます。気化した水蒸気は、排気ファンにより誘引・排出されサイクロン（粉塵の集塵）を経由し、煙突から排出されます。脱臭関連機器のオプションとして、スクラバー（排ガス洗浄装置）・脱臭炉活性炭槽もご用意できます。

■多目的乾燥機用途例

食品廃棄物《食品廃棄物を利用した乾燥飼料製造工程》



廃木材《廃木材を利用したバイオマス燃料製造工程》



食品廃棄物を利用した乾燥飼料製造工程

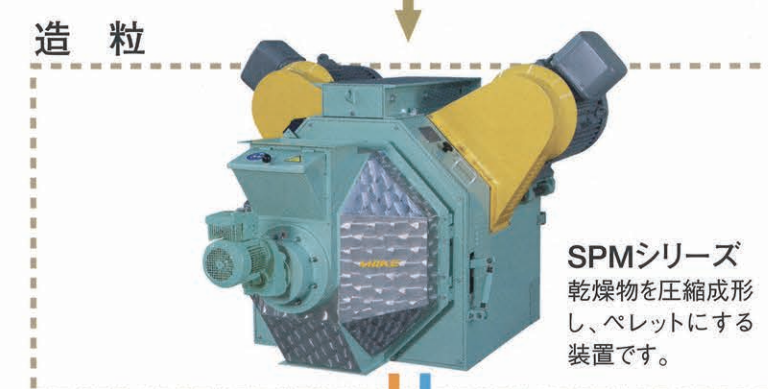
食品廃棄物→発酵菌の混入→破碎→選別→乾燥→造粒→乾燥飼料化

食品廃棄物は腐敗しないように受け入れ時に発酵菌を混入します。次に食品廃棄物を破碎し、選別機に投入して箸・プラスチック等の異物を取り出します。破碎・選別された食品廃棄物を乾燥機に入れ20～30%の含水率まで乾燥します。乾燥された食品廃棄物は造粒機でペレット化され乾燥飼料として利用できます。平成18年の5月に食品リサイクル法が施行されますが、**MIIKE**多目的乾燥機を中心に一環した乾燥飼料製造システムを導入することにより対応が可能です。※発酵菌及び発酵菌培養装置も当社で製造販売しています。

廃木材を利用したバイオマス燃料製造工程

廃木材（流木・伐根・刈草等）→破碎→粉碎→乾燥→造粒→バイオマス燃料

廃木材は破碎・粉碎をしてオガ粉状にします。オガ粉を乾燥機に入れ一定の含水率まで乾燥させます。乾燥したオガ粉を造粒機に入れ圧縮成形しペレット化します。ペレット化されたオガ粉はバイオマス燃料として利用できます。



MIIKEでは廃棄物の有効利用技術を開発実用化に努力すること30有余年。破碎、粉碎、選別、乾燥、造粒といった技術の蓄積を有しております。乾燥工程の設計及び乾燥物の有効利用についてもご提案いたします。